

研究実施のお知らせ

日本総合病院精神医学会治療戦略委員会では、精神科領域の肺血栓塞栓症／深部静脈血栓症の予防を主眼に「静脈血栓塞栓症予防指針」(2006年)を提示し、現場ではそれを参考に予防が行われていると思います。指針を改訂するにあたり、現在の精神科医療現場における肺血栓塞栓症／深部静脈血栓症の予防の実態と発生の状況について、基礎的な資料を作成すべく調査を実施いたします。それを基に、日本総合病院精神医学会の静脈血栓塞栓症予防指針の改訂版を作成したいと思います。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、本調査研究の実施については日本総合病院精神医学会理事会の承認、国立精神・神経医療研究センターの倫理審査の承認を得て実施しております。

本調査の結果は日本総合病院精神医学会等で学術研究として発表、および精神医学領域の専門学術誌で論文として公表する予定です。また、日本総合病院精神医学会の静脈血栓塞栓症予防指針の改訂版に反映する予定です。

いずれの場合においても公表する結果は統計的な処理を行ったもののみとし、個人情報は一切公表いたしません。

本研究についてご質問がございましたら問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】

肺血栓塞栓症／深部静脈血栓症と身体拘束の実態に関する後ろ向き調査

【研究班班長】

成増厚生病院 中村 満

【本研究の目的及び意義】

日本総合病院精神医学会では「肺血栓塞栓症／深部静脈血栓症と身体拘束の実態に関する後ろ向き調査」という調査を行っています。この調査は、肺血栓塞栓症／深部静脈血栓症と身体拘束との関連性の有無・程度と予防法の実態を調べることを主な目的としています。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる調査対象施設

日本総合病院精神医学会所属の精神科を持つ一般病院の精神科が対象となります。

調査対象期間

アンケートは2018年4月1日より2019年3月31日までの間を調査します。

利用する試料・情報等

調査対象施設の概要と調査期間中に発生した肺血栓塞栓症／深部静脈血栓症の実数、予防法などの実態調査と、入院中に新たに肺血栓塞栓症／深部静脈血栓症を発症した方の以下の情報です。

年齢、性別、肺血栓塞栓症・深部静脈血栓の有無、血栓の発生部位、転帰、発見時のD-dimerの値、下肢エコー所見、胸部(造影)CT所見、肺血栓塞栓症・深部静脈血栓発生前に存在したリスク、身体拘束の有無・部位・継続時間、鎮静の有無と継続時間、実施していた予防法

データの保管

調査票は国立精神・神経医療研究センターへ送付され保管されます。調査票をデータ化して統計解析担当である成増厚生病院へ送付されます。

研究期間

倫理委員会承認日より2021年12月31日まで

【共同研究者】

日本医科大学武蔵小杉病院	研究分担者 岸 泰宏
東京大学	研究分担者 谷口 豪
東京女子医科大学病院	研究分担者 西村 勝治
国立精神・神経医療研究センター	研究分担者 野田 隆政
順天堂大学医学部付属練馬病院	研究分担者 八田 耕太郎
成増厚生病院	研究分担者 渡邊 敬文

○問い合わせ窓口
成増厚生病院 院長 中村 満
電話番号 03-3939-1191(代表)